

**第5回  
第8期高砂市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会  
会議録（議事要旨）**

- 1 開催日時 令和3年2月9日（火）14:00～15:30
- 2 開催場所 高砂市役所南庁舎 5階大会議室
- 3 協議事項
  - (1) 第8期事業計画の素案の修正について
  - (2) パブリックコメントの実施結果について
  - (3) 第8期における介護保険料について
  - (4) 第4回策定委員会会議録（議事要旨）について
  - (5) その他

4 議事録

事務局	(1) 第8期事業計画の素案の修正について 【「素案の修正点」資料説明】
委員意見	78ページの介護人材の確保について、いわゆる3級ヘルパーは関係ないのか。入れたほうがいいのか。
事務局	家事援助ヘルパー、サービスAというサービスを担っていただく研修を実際にしているので、入れる方向で検討していきたい。
委員長質問	サービスA・B・Cがそもそも分からないことが結構あると思う。用語集にサービスA・B・Cはないのか。
事務局	追記する。
事務局	(2) パブリックコメントの実施結果について 【「パブリックコメントの質問と回答」資料説明】
委員長質問	回答は公開されるのか。
事務局	回答は、委員会後、日を改めて公表する予定にしている。
委員長意見	市民からすると、サービス、相談窓口にしても近くに必要なのがあつてほしい。面的に整備していくことが難しいところもあると思うが、それに代わることはできないのか。専門職や行政が考えていくべきところだと思う。例えば窓口について、物理的に東部に集まっており北西部が少ないのであれば、北西部に対してどうするのかは適宜考えていく必要が出てくる。総合的に判断して、市としてどのように保障していくのかというところが求められていると思う。
委員意見	「高砂市は、ボランティアやNPO、民間企業などの活用がうまくできていないように感じる。」とある。いわゆる地域での支え合いについては、第2層協議体という話が出たと思うが、協働のいろんな取り組みが身近なところにあるかどうかは市民の側から見えないと身近なものにはならないと思う。参加していない市民もやってみたいと思うような、具体的な場面が見れるといいのではないかと。特に、目指している共生社会も、具体的に、一歩踏み出したいなと思うような取り組みがいると思う。

事務局	<p>我々も情報を提供できていないところもあるため、いろんなところで周知を図るような形で、もう少し市民の方にいろんな活動を知っていただきたいと思う。</p> <p>もう1つ、第2層協議体の中で、まだ全体でやっているところは少ないが、各単位自治会でお願いして、高齢者のニーズ調査をしていただいている。そこで困ったことや助けてほしいことのニーズを集めて今、新聞を作成し地域で回覧をしていただく展開を進めていこうとしている。その中で、助け合いの部分を少しずつ進めようとしている。そのような活動で、お互いに助け合っていきましょうという心が生まれていけばと思う。市も積極的に参加することで、やっているという形は見せていきたいと思っている。</p>
委員長意見	<p>とにかく目で見えてわかることが大切。例えば、今第2層の協議体を地域でつくると言っても、会議が多だけで機能しないことは、ある自治体の職員からも聞いている。実践からでき上がってきたものを第2層協議体と読み替えるぐらいのことにしていけないと。市民目線からすると、何かやらされるという印象になってくる。やり方としては変えていかなければいけない。市が積極的に関わっていくことも大切だが、関わっていくと離れなくなる。現場と何かやっていくのであれば、距離感に気をつけなければいけないと思う。</p> <p>動画は結構簡単にできたりする。市民の中に得意な人がいると思うので、今後見つけていくこともしていただきたい。福祉人材とは関係ないと思われがちだが、地域からすると大切な人材。得意分野を活かして活躍できる場を準備していくということは大切。</p>
委員意見	<p>第2層の協議体について、高砂市の場合は8地区中6地区協議体ができ上がっている。それぞれの地区で集まってくる方も団体も違うが、例えば、コーディネーターに入っただけで、少しずつ進んでいる。これがこの3年の間に恐らく8地区全部でき上がってくると思う。今度それぞれの協議体がどのような形で、地域の皆さん方に第2層を知らせていくかということが大事だと思う。市民の皆さんで盛り上げていただきたいというのが我々の考え。</p>
事務局	<p>(3) 第8期における介護保険料について 【「第8期介護保険料について」資料説明】</p>
委員長質問	<p>去年は7期から据え置かれているというところが1つのポイント。低所得の方の保険料軽減措置ということは、要するに月額が1段階で2,950円だがそれより下がるということか。</p>
事務局	<p>12ページのところで、例えば第1段階、これは軽減になると月額が1,770円で年額が2万1,240円で、率が0.3になる。</p>
委員長意見	<p>所得が増えていないのに保険料だけが上がってきているようなイメージの中で、恐らくそれを抑えていかなければいけない。だから本当にこの率でいいのか、国から示されている部分と実態が合っているのか気になる。</p> <p>サービスとしては必要だが、サービスの利用量が増えると保険料も上がっていく保険という仕組みだからこそのところもある。今回据え置かれているのは、市民からすると、上がらなくてよかったと思える。</p>
委員意見	<p>第2層は用語集にあるのか。本文に突発的に出てくるような感じなの</p>

	<p>で、意味合いがあったらと思う。</p>
委員意見	<p>福祉避難所、いわゆる避難、それぞれの個別計画、障がい者を含めてしっかりとつくるべき。目標値の新規作成数が20件というのは少なすぎる。介護が必要な方で、在宅の方はもっといるはずだが、実際に体制整備に至らないのではないかと。やはり災害時の体制というのは、まさに日常の体制の縮図だと思う。社会福祉協議会がつくっている地域福祉計画とも併せてしっかりと書き込んでいただきたい。それに向けて民生委員、自治会、行政も入ってしっかりと各地域に浸透して、実際に動ける個別の計画策定がうまくいくように進めていくべきではないか。</p>
事務局	<p>避難行動要支援は、思うようには進んでおらず、思い切った数字が出せていない。ただ、今年度については今までよりは進んでいるという状況にはなりつつある。ある程度の理解が得られて進んでいくと思うが、自治会長などと話をする中では、進みにくい、難しい原因があるので、この数字で行かせていただきたい。</p>
委員意見	<p>支援計画のあり方を考えないといけないのではないかと。何が原因で進まないかが一番問題だと思う。みんなで集まって、この支援計画のあり方を考える場を設けていただけないか。</p>
事務局	<p>災害防災部局と相談しながら進めていけたらと思う。支援計画の中身については、特に支援者の名前を記載すると責任がかかってくるのではないかとという恐れがあるから名前を載せるのはどうか、ということは実際に聞いている。そういう点も含めながら、作成していきたい。</p>
委員意見	<p>まずはいわゆるコミュニティー、隣近所で助け合いましょうというのが原則だと私も思う。皆さんに知っていただいて、いざという時にはこういう形でお互い助け合うことが、イメージできて動けるようなところの話し合いが必要ではないか。「基本的に隣近所で助け合わない」という意識は持っていると思う。あとは、介護保険でサービスを使っている方ならケアマネの後押しや説明があればできることもある。災害云々と書いてある割には具体的なところが見えないし、わからないので、行政が全部やるという意味ではなくて、いろいろな人が様々な形で参加、助け合えることを話し合いの中で見つけ出し、それぞれが出来ることを出し合っていく。それを形にしていく。それを一人一人のカードの中に盛り込んでいけるように考えたら良いのではないかと私は思う。</p>
事務局	<p>地域の方のお互いに助け合いましょうという気持ちが非常に大事な施策。ほかの高齢者施策も、非常に大きい課題となっている。市としても理解を示していただけるよう周知も含めて、いろいろなことに取り組まないといけないと思っている。</p>
委員長意見	<p>今、市民の側から話し合いをしましょうと言ってくれているのは、本当に救いなので、行政側も真摯に受け止めていただく必要がある。確かに、名前を書いても責任はないと言われても、市民一人一人の倫理観の中ではやっぱり感じるもの。災害はいつ起こるかわからないので、その時々地域の実情を知っている市民、自治会長や民生委員の方たちから話を聞くのは非常に重要なこと。その中で、徐々に役割分担が見えてくると思うので、ここの作業を怠らずに進めていくことが重要になってくる。20という数が、今は無理でも2023年度に100、200になっていてもいい。増やすための</p>

委員意見	<p>したことはプラスの評価になってくると思う。市民側の協力体制があって初めて事業計画は推進していくことができるので、そこで市としての責任がかかってきていると捉えていただければ。</p> <p>この4月の介護保険法の大改正について、厚労省から出ている資料では、各市町に任せるといったあいまいな表記部分がある。前回の大改正のときも、大筋は理解しているが細かいところで極端な解釈をするケアマネがいたり、組織単位で混乱することが多かった。極端な解釈が出てこないようなディスカッションをする場、市としてはこうしていきたいというような場を設けていただけるだろうなどみんな言っている。計画に盛り込まれてないので、あるだろうと期待している。もう1つ、保険外では印鑑や書類の簡略化、ケアプランにサインが要らないと言われている。改正後、現場が混乱する以前に具体的な質疑応答の場をいただければ非常に助かる。</p>
事務局	<p>昨年、初めて高砂市として集団指導させていただいて、今年もさせてもらいたいと考えてはいるが、コロナの状況もあり今検討している最中。まずは、県の説明会をYouTubeでやると聞いているので確認していただければ。私どもも国から出ている情報は、皆さんと同じぐらいのものしか手元にはないので、協力して事業をさせていただければと思う。</p>
委員長意見	<p>現場が混乱しないようにしていただければ。あとは、ICTをどう使っていくかということは、将来を見据えてやっていかないといけない。</p>
事務局	<p>(4) 第4回策定委員会会議録(議事要旨)について  <b>【「第4回委員会会議録【要旨】」資料説明】</b>      内容について意見があれば連絡いただきたい。</p>
事務局	<p>製本した計画を改めて郵送でお配りする。</p>